

## 1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

「りな」は小学四年生。

クラスで音楽の発表会があると聞いたとき、りなの心は少し重くなった。

教室のうしろの黒板に、発表会の日にちが書かれたのを見て、むねのあたりがきゅっとした。

りなは人の前で話したり歌ったりするのが、あまりとくいではなかったからだ。

家では元気に歌えるのに、教室で声を出そうとするど、のどがつまったようになってしまう。

練習が始まると、クラスのみんなは元気に歌っていた。

ピアノの音に合わせて、明るい声が教室にひびく。りなも楽譜を見ながら口は動かしていたが、声はほとんど出ていなかった。

「まちがえたらどうしよう」「変な声だと思われたらいやだな」

そんなことばかり考えて、だんだん楽譜を見る目も下を向いていった。

ある日、音楽の時間のあとで、となりの席の「みさき」が声をかけてくれた。

「りなの声、やさしくて好きだよ。さっき、ちょっと聞こえた。」

りなはびっくりして、思わず顔を上げた。

自分では、ほとんど声が出ていないと思っていたからだ。

「ほんとうに？」と小さな声で聞くと、みさきはにこっとしてうなずいた。

その日の帰り道、りなはランドセルをゆらしながら、校庭をゆっくり歩いた。

風にゆれる木の音や、遠くから聞こえる友だちの声、いつもよりはっきり聞こえた。

夕方の空は少し赤くて、なんだかやさしい色をしていた。

「少しだけでも、声を出してみようかな。」

そう思うと、心の中にあった重たい石が、少し小さ

くなった気がした。

次の練習の日、りなは前より少しだけ、大きな声で歌ってみた。

声はまだふるえていたし、ドキドキも止まらなかった。

でも、歌い終わったあと、むねのあたりが前よりもあたたかく感じた。

となりを見ると、みさきが、にこっと笑って小さくうなずいてくれていた。

発表会の日、りなはとてもきんちようしていた。

ステージの上に立つと、教室とはちがって、ライトがまぶしく見えた。

でも、となりに立つ友だちの声を聞きながら、りなは前を向いた。

「まちがえてもいい。今の声を出そう。」

そう思って歌ったとき、りなは自分の声が、少しだけ好きになった気がした。

歌い終わって席にもどると、むねのドキドキは、いつのまにかやわらいでいた。

りなは、そっと息をはいて、前を向いた。

「また歌ってもいいかも。」

そう思ったことが、りなには少しうれしかった。



(1) 文中の「——」の「むねのあたりがきゅっとした」とありますが、りなはなぜそう感じたのですか。本文の内容に合わせて三十五字以内で書きましよう。



(2) みさきに声をかけられたあとの、りなの気持ちの変化として、いちばん合っているものを選びましよう。

- ① ますます不安になり、声を出すのをやめようと思った。
- ② 何も変わらず、前と同じ気持ちのままだった。
- ③ 少し自信が出て、声を出してみようと思うようになった。
- ④ 発表会に出るのをやめようと決めた。

(3) つぎの出来事を、文章の流れに合うように、正しい順番に並べましよう。

- ① 発表会の日、りなはステージで歌った。
- ② みさきが、りなの声を「やさしくて好きだよ」と言った。
- ③ りなは、音楽の発表会があると聞いて不安になった。
- ④ 次の練習の日、りなは少し大きな声で歌ってみた。



(4) 次の練習の日に、りなが少し大きな声で歌えたのは、どんな気持ちの変化があったからだと考えられますか。いちばん合っているものを選びましよう。

- ① 先生に注意されたから
- ② みさきの言葉で、少し自信が出たから
- ③ 楽譜を覚えたから
- ④ 早く練習を終わらせたかったから

(5) 発表会の日、りながステージに立ったときのようすを、文章の中から二つ書きましよう。



(6) 話の最後で、りなの気持ちはどうなったと考えられますか。いちばん近いものを選びましよう。

- ① もう二度と歌いたくないと思った。
- ② まだこわい気持ちだけが残っている。
- ③ 自分の声を少し好きになり、前向きな気持ちになった。
- ④ みさきにまかせて、自分は歌わなくていいと思った。

(1) 文中の「——」の「むねのあたりがきゅっとした」とありますが、りなはなぜそう感じたのですか。本文の内容に合わせて三十五字以内で書きましよう。

解答例  
人の前で話したり歌ったりするのが、あまりとくいではなかったから。

(2) みさきに声をかけられたあとの、りなの気持ちの変化として、いちばん合っているものを選びましよう。

- ① ますます不安になり、声を出すのをやめようと思った。
- ② 何も変わらず、前と同じ気持ちのままだった。
- ③ 少し自信が出て、声を出してみようと思うようになった。
- ④ 発表会に出るのをやめようと決めた。

(3) つぎの出来事を、文章の流れに合うように、正しい順番に並べましよう。

- ① 発表会の日、りなはステージで歌った。
- ② みさきが、りなの声を「やさしくて好きだよ」と言った。
- ③ りなは、音楽の発表会があると聞いて不安になった。
- ④ 次の練習の日、りなは少し大きな声で歌ってみた。

③ ↓ ② ↓ ④ ↓ ①

(4) 次の練習の日に、りなが少し大きな声で歌えたのは、どんな気持ちの変化があったからだと考えられますか。いちばん合っているものを選びましよう。

- ① 先生に注意されたから
- ② みさきの言葉で、少し自信が出たから
- ③ 楽譜を覚えたから
- ④ 早く練習を終わらせたかったから

(5) 発表会の日、りながステージに立ったときのようすを、文章の中から二つ書きましよう。

① ライトがまぶしく見えた

② とてもきんちようしていた

(6) 話の最後で、りなの気持ちはどうなったと考えられますか。いちばん近いものを選びましよう。

- ① もう二度と歌いたくないと思った。
- ② まだこわい気持ちだけが残っている。
- ③ 自分の声を少し好きになり、前向きな気持ちになった。
- ④ みさきにまかせて、自分は歌わなくていいと思った。